

見沼区の図書館子どもの本ブックリスト 春号

はる 春がやってきました!!

ながい冬^{ふゆ}がおわりをつけ、あたたかな 春^{はる}が
やってきました。

草^く木^きはめをさまし、芽^め吹^ぶいたり、花^{はな}をさかせたり
します。どうぶつたちは とうみんからめをさまし、
春^{はるかぜ}風^{はる}や春^{はる}のにおいをかんじながら、そろそろと
そとのせかいへでていきます。

春^{はる}は、わたしたちにとってもまちどおしいもの。
にゅえん・にゅがくといった、あたらしい生活^{せいかつ}を
むかえる おともだちもいます。

さくらの木^きのしたで、おはなみするのも たのしみ
です。

そんなわくわくするきせつにぴったりの

絵^え本^{ほん}や、やさしいものがたりを
あつめました。



はる ま どお え ほん 春が待ち遠しい絵本

『はなをくんくん』

ルース・クラウス／ぶん マーク・シーモント／え きじまはじめ／やく（福音館書店）

ゆきがふっているよ。のねずみも、くまも、ちっちゃな かたつむりも、りすも やまねずみも ねむってるよ。冬眠から目を覚ました動物たちは、はなをくんくんしながら、みんなかけていく。ぴたり、みんな とまった。その先にあったものは？

はる おとず よろこ え ほん
春の訪れと喜びをえがいた絵本。



よ なか
「世の中を、もっとうつくしくするために、なにかをしなくては」

『ルピナスさん』

バーバラ・クーニー／さく かけがわやすこ／やく（ほるぷ出版）

うみ 海をみおろすおかのうえにある、小さいえに小さなおばあさんがすんでいました。いえのまわりには、あおや、むらさきや、ピンクの花がさきみだれています。この花の名まえ前にちなんで、おばあさんは、ルピナスさんとよばれるようになりました。

ルピナスさんは小さいおばあさんですが、むかしからそうだったわけではありません。世界中を旅して、やがて海のそばの町にすみました。そしてこどものころ、おじいさんとした約束をみごとに果たしたのです。その約束とは？

ひとりの女性の生きかたをえがいた絵本。



はるかぜがやってきた

『はるかぜ とぶう』

小野かおる／さくえ（福音館書店）

とぶうは、はるかぜのこどもです。かぜのこたちをさそって朝のまちをとんでいくと、まちのみんなは「やあ、はるかぜだ」「あたたかくなるぞ」とにこにこしています。

とぶうたちがようちえんのこどもたちについていくと、そこはどうぶつえんでした。とぶうは、先にきていたべつのはるかぜたちと、めちゃめちゃのけんかをはじめたものですから、さあたいへん。あちらこちらにつむじかぜがおこってしまったのです。どうぶつえんはおおさわぎ。さあ、どうなるのでしょうか。



「おひさま ぽかぽか かぜ そよそよなのはな くんくん いいにおい」

『ボートにのって』

とよたかずひこ／著（アリス館）

うららちゃんが、おとうさんといっしょにボートにのっています。

ギーコン バッシャン ギーコン バッシャン ボートはすすみます。

おとうさんが、ボートをとめておひるねをすると、うららちゃんはちいさな声^{こえ}でうたいました。♪ちょうちょう ちょうちょう なのはにとまれ♪。すると「あそびましょ」とちょうちょうさんが、うららちゃんのぼうしのうえにとまりました。

うららちゃんがうたうと、こんどはどんなおともだちがやってくるのでしょうか。



「グツ グツ グツ にえたか どうだか たべてみよ グツ」

『おなべおなべにえたかな?』

こいでやすこ／さく（福音館書店）

きもちのいい春^{はる}の日^ひに、きつねのきっこは、いたちのちいとにいといっしょに、山^{やま}おこうのおおばあちゃんのところへいきました。おおばあちゃんはちょうど、スープを煮^にていました。ところが、急^{きゅう}に用事^{ようじ}のできたおおばあちゃんがでかけると、きっこたちは、スープの番^{ばん}をすることになりました。ちゃんと、スープの番^{ばん}ができるかな? そんなときは、おなべにきいてみましょう。「おなべ おなべ にえたかな?」



「これは、ほんのつまらないものですが、

おかえしの おかえしの おかえしの おかえしの・・・」

『おかえし』

村山桂子／さく 織茂恭子／え（福音館書店）

ある日^ひ、たぬきのいえのとなりへ、ひっこしてきたきつね。ひっこしの荷物^{にもつ}が片付^{かたづ}くと、きつねのおくさんはたぬきのおくさんのところへあいさつにきました。「これは、ほんのつまらないものですが・・・」といって、かごいっぱい^{いっぱい}のいちごをさしだしました。

たぬきのおくさんは、いちごのおかえし^{おかえし}にといって、おおきなかごにたけのこをいれてわたしました。こんどは、おかえしのおかえし^{おかえし}にといってきつねのおくさんは、たぬきのおくさんをたずねます。すると、たぬきのおくさんはおかえしのおかえしのおかえし^{おかえし}をもって、きつねのおくさんのところへいきました。いったい、おかえしは、いつまで続^{つづ}くのでしょうか。



ねえ、みんな 知っている？ せんせいってときどき・・・

『せんせい』

大場牧夫／ぶん 長新太／え(福音館書店)

ねえ、みんな知っている？ せんせいってどんな人？ せんせいって、ときどき うまで、せんせいって、ときどき オニで、せんせいって、ときどき おすもうさんだよ。おとうさんで、おかあさんみたいで、・・・。

子どもたちの先生への信頼と愛情が伝わってくる、あたたかな絵本。



1ねんせいから6ねんせいまで いっしょにがっこうに行く
ランドセル！ つくりかたをみてみよう。

『らんらんランドセル』

モリナガヨウ／著(めくるむ)

らんらん ランドセル。みてみて、これがだいすきなわたしのランドセル。どんなおてんきだって、いっしょにがっこうに行くよ。どんなにもつもおまかせ。たくさんはいるよ。

ところで、ランドセルはどうやってつくるんだろう。

ランドセルは200の部品を組み立てて、ていねいに作ります。生地づくりから裁断、ミシンで縫うところもみせてくれます。ランドセルの仕組みがわかる絵本。



しょうがっこう

小学校って、どんなところだろう？

べんきょう

勉強っておずかしいかな。給食はおいしいかな？

きゅうしょく

『1ねん1くみの1にち』

川島敏生／写真・文(アリス館)

1年1組の教室。朝になってみんなが登校してきたよ。ランドセルの中のもの、クラスみんなのふでばこもせいぞろい。30分休みでは、木のぼりしたり、図書館でおきにのり本のほんをみつけたり、先生たちと校庭でドッジボールをしたり。おもいきりあそんだあとは、さんすうのじかん。そしてまちにまった給食。1か月の給食ゼーンぶ紹介。どれもおいしそう。

実際のしょうがっこうの様子を写真でつづられているので、興味がわきます。新一年生だけでなく、みんなにおすすめしたい写真絵本です。

毎月23日は

さいたま市 子ども読書の日



令和5年3月発行

編集・発行：さいたま市立春野図書館